



# 有限会社 鈴木モータース

ひとつ先の心遣いを ~お客様に近い存在! 地元へ愛される車屋さん~



「動く京町家」と鈴木千鶴さん(左)

当コーナーでは、商品の売上の一部が京町家まちづくりファンドへの寄附となる寄附付き商品を取り扱っていただいている企業の皆様方、京町家や京都のまちづくりに対する思いをご紹介します。

今回は、旧山陰街道の宿場町「櫻原」で約70年にわたり自動車の販売・整備業を営まれる有限会社鈴木モータース 代表取締役社長の鈴木千鶴さんにお話を伺いました。

## 京町家まちづくりファンドにご協力いただいた理由は?

江戸時代は桶屋の町として知られ、町家が残る風光明媚な土地「櫻原」に生まれ育ちました。そこに代々社があり、和文化の継承や地域への貢献に対する必然性を感じています。

また、「櫻原町家灯籠会」を平成25年2月に設立し、もっとここに住んでいる人達が、ここに住んでいることに誇りを持ち、この地が活性化されていくことを切望しています。以上の2点が主な理由です。

## 社会貢献活動について(京都、景観、京町家等への思いについて)

### ①「動く京町家プロジェクト」構想

古い町並みから飛び出してきたような京町家が荷台に乗った軽トラックを製作しています(写真参照)。地域の中小企業や老舗、障害者施設、起業家等を支援し、つなげる仕組みを確立するプロジェクトです。「動く京町家」のさまざまな活用を通じて、地域の活性化や、広く京都の和文化の啓蒙に貢献できれば幸いです。

ピングやのさきさき市などのイベント開催や、さまざまな活動を行っています。また、今住んでいる人たちだけではなく、転勤等で移住されてきた方にも心の故郷と感じてもらえるようなまちづくりを活動の趣旨としています。古い町並みが次世代に受け継がれ、健全に保存されることを願っています。

### ②地域活動人として

京都市西京区で唯一残ると言われる宿場町「櫻原」において、住民が自分達の町に愛着と誇りを持ちながら、毎日を過ごしていただけるよう「櫻原町家灯籠会」において、プロジェクトマツ

### ③自動車業界として、親として

整備士不足という課題があるため、次世代育成として国の女性整備士増進計画に協力したいと考えています。また、親として、女性として、子育てを支援するための雇用や、私と同世代の中老年の雇用を創出したいと考えています。

## 経営する上で心掛けられていることは?

「地域繁栄の中で黒字経営100年企業を目指す」を合言葉としています。江戸時代の宿場町で長い年月をかけて築き上げた信頼やつながりを宝に「桂で自動車屋といえば鈴木モータース」と言わ

れるようになることを一つの目標とし、当社に関わる全ての人が生きる使命や幸福感を感じてもらえるよう「ひとつ先の心遣い」を提供することを心掛けています。

## 今後の展開について

地域としては、当社の周りに盛んなコミュニティが形成されることを目指しています。近くにある京大桂キャンパスと連携して「会議のまち」として町家等を活用していくことも検討しています。

企業としては、日々社員がわくわくとやりがいを持ち、効率性と創造性のバランスを考えながら会社を存続させていきたいと考えています。安定した経営により、継続的な社会貢献が可能な会社となり、地域の中小企業のパイオニアとなれば幸いです。

寄附付き商品の内容: エンジンオイル交換1L(販売価格1,000円)につき、10円が京町家まちづくりファンドに寄附されます。

取扱場所: 有限会社 鈴木モータース  
京都市西京区櫻原石畑町17番地1  
TEL: 075-381-2682  
HP: <http://www.suzuki-m.com>



オイル交換ステッカー

※自動車の整備に限らず、櫻原の歴史・文化・景観・まちづくりや、「動く京町家」にご関心がある方は、ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

## 平成29年度賛助会員募集中!

入会をご希望の方はまちセンにお問合せいただくか、ホームページをご覧ください


※平成29年2月末現在

## 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

〒600-8127  
京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1  
(河原町五条下る東側) ひと・まち交流館 京都 地下1階  
TEL: 075-354-8701 FAX: 075-354-8704  
E-mail: [machi.info@hitomachi-kyoto.jp](mailto:machi.info@hitomachi-kyoto.jp)  
HP: <http://kyoto-machisen.jp>



センターへお越しの際は公共交通機関をご利用ください。



公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンターは環境負荷低減に努めています。

# 京まち工房 78

パートナーシップで進めるまちづくり



## 特集

防災まちづくりの取組紹介  
「路地のある風景、路地がつくる文化を残したい。」  
(P2-3)

京町家まちづくりファンド 感謝祭  
「あなたが支える京町家」  
(P4-5)



京町家再生事例	6
賛助会員募集/スタッフのつぶやき	7

# 路地のある風景、 路地がつくる文化を残したい。

近年多発する災害の影響もあり、防災意識が高まりつつあります。今回の特集では、京都市内で行われている防災まちづくりの取組を紹介します。

## 京都のまちの象徴、「路地」

京都のまちの風景の特徴の一つでもある「路地」。京都らしい景観、地域コミュニティ、くらしの文化の形成にも寄与してきた重要な資源です。

## よさを残して、安全に

できるだけ京都のまちなよさを残しながら、地域の安全性を高めるため、京都市と当財団では連携して、京都独自の防災まちづくりを進めています。

## 一方で、防災上の課題も

一方、防災の観点から見ると、細い路地や袋路には、建物の倒壊によって避難路がふさがれる危険があるだけでなく、幅員1.8m未満の道では、原則建て替えや大規模修繕ができないため、建物の老朽化、空き家の増加にもつながります。現在京都市内の都市計画区域内には、細い路地や袋路は約13,000本あり、そのうち幅員1.8m未満の道や袋路は約6,000本に上ります\*。

\*参考：「歴史都市京都における密集市街地対策等の取組方針」（平成24年度）



## 取組み方、色々あります！

災害発生後の迅速な対応も大切ですが、それと同時に災害が起こる前にできる対策や取組も重要です。建物や路地自体の耐震性を高める対策から、将来にわたっての計画づくり、地域のつながりを高める取組など、地域の特徴に合わせて、できることから活動が始まっています。

### 取組例 1 路地をまずは安全に！

路地自体を、できるだけ安全にする取組として、路地の入口部分にあたる路地門やトンネル路地の始端部の耐震化、袋路で二方向に逃げられるようにするための緊急避難用の扉の設置などが進められています。



緊急避難扉の設置



路地門の整備



上京区正親学区では、防災まちづくり委員会を立ち上げ積極的に活動しています。各委員が担当エリアの状況を把握し、すぐに取り組める対策箇所を委員会で共有して改善を行っています。目に見える改善例を増やすことで、地域の中の防災意識を高めたいと考えています。

### 取組例 2 地域の路地を知ろう！

防災の観点からまちを点検する防災まちあるきを行うと、「自分の住まいのある路地以外には行ったことがない」という声をよく耳にします。しかし、地域の路地の状況を知っておくことは、災害時の備えとしても重要です。普段から自分たちの路地やまちの風景に慣れ親しむことは、地域への愛着を育てることにつながるのではないのでしょうか。



東山区六原学区では、通り抜けのできる道を「小路」、できない道を「路地」として、町内ごとに愛称をつけました。陶器製の銘板は、災害時に助けを呼んだり、避難ができる道と判断するのに役立ちます。今後は地図の作成や、地域向けツアーを計画するなど、活動の広がりが期待できます。



### 取組例 3 将来にわたる計画やルールをつくろう！

地域全体の防災力を高めるには、将来的に道路の幅なども検討していく必要があります。息の長い取組となります。町内会長さんや防災部長さんが交代しても、「こういうまちでありたい！」という地域で共有した方針やビジョンが引き継がれるよう、防災まちづくり計画や地域独自のルールづくりを進めている地域もあります。

中京区朱雀第一学区では、小学校の授業の一環として防災まちづくり学習を取り入れるなど、将来を担う子どもたちとともに、地域全体の防災意識を育てる活動をしています。

### 取組例 4 空き家を整備して魅力ある路地に！

「路地奥の建物を空き家にしない」取組も有効です。空き家を活用する際に、耐震性、防火性を高めるような防災的な整備がなされると、路地自体の安心安全につながります。路地という狭い空間で、お互いに気持ちよく過ごせるような配慮やルールを大切に守りながら、定住者が増えるような空き家活用を進める取組も始まっています。

下京区有隣学区では、大学の研究者や建築の専門家が地域の空き家状況を調査するとともに、所有者の方に対して活用へ向けた相談も同時に行っています。こうした空き家の活用に取り組む専門家とともに路地整備などの防災まちづくりの活動を行うことで、行政の支援制度も複数活用しながら、空き家と防災それぞれの課題を解消していく、効率的な取組を目指しています。

改善された路地空間

建物の改修に合わせて路地空間を整備



Before

空き家物件を改修

トンネル路地の屋根部分を撤去

After

**ご案内** 当財団は、関係部署と連携しながら、京都のまちなよさを残しながら取り組む防災まちづくりにも携わっています。内容に応じて、以下でもご相談を受け付けています。

密集市街地における、細街路対策事業に関するお問い合わせ

京都市都市計画局まち再生・創造推進室 ☎075-222-3503

建物の耐震改修等に関する助成制度のお問い合わせ

京安心すまいセンター ☎075-744-1670



京町家まちづくりファンド 感謝祭

事業報告 基調講演 ゲストスピーチ 寄附者表彰式 アトラクション

# あなたが支える京町家

日時：平成 29 年 1 月 29 日（日）  
共催：京都市都市計画局まち再生・創造推進室

会場：しんらん交流館 2 階 大谷ホール  
協賛：★SAPORO サッポロホールディングス株式会社

京町家まちづくりファンドは、京都を、そして京町家を愛する皆様のご支援によって、京町家を再生し、京都らしい町並みを保全するため、平成 17 年に設立された基金です。当日は、100 名を超すご来場の皆様に、平成 27 年度・28 年の事業報告を行うとともに、10 年間の取組の中で、大きなご支援をいただいた皆様へ門川市長から感謝状を贈呈しました。文化を継承し、未来へつないでいくための取組の様子をご報告します。  
▶詳細は HP にて紹介します。



## ご挨拶

青山 吉隆

京都市景観・まちづくりセンター理事長、  
京都大学名誉教授

京町家まちづくりファンドは、当財団の柱となる重要な事業です。これまで 77 軒の京町家の改修事業に支援をして参りましたが、基金の減少が課題となっていました。今年度は、寄附者の皆様、企業の皆様のお陰で増加に転じることができました。このファンドは京町家の所有者個人に助成されていますが、京町家が再生・継承されることによって、くらしの文化や京都らしい町並み景観を継承し、京都の価値を向上することにつながっています。今後もさらなる京町家の保全に向けて、京都だけでなく国内外から支援の輪が広がることを期待しております。



## 話題提供

大場 修

京町家まちづくりファンド委員会委員長、  
京都府立大学大学院教授

## 「京町家の歴史と価値を後世に伝えるファンドの役割」

京町家には 1000 年以上の歴史があることが書物等で確認されています。歴史がたどれる木造の都市住宅は世界に類が無く、世界遺産的な価値も持っています。

ファンドは、1000 年にわたる京町家の伝統や価値を再生すること、加えて、京町家に現代的価値を付加する、創生するという役割を担っています。ファンドの支援によって保全・再生された京町家により、重要文化財に指定されるような「代表的な京町家」の裾野を広げたいと考えています。

## 事業報告

### 改修助成事業

平成 27 年度は 2 軒の改修助成を行い、2 軒とも、京都市の「京都を彩る建物」に選定されました。地藏盆などの会場にもなり、地域コミュニティへの貢献もされています。

平成 28 年度は 3 軒の改修に助成を行う予定です。



Before

After

### 寄附促進・普及啓発事業

今年度、寄附付き商品に新たに協力していただいた 6 社をご紹介します。

京町家スイート利休様・鈴木モーターズ様・フージャースコーポレーション様・岩井木材様・徳外瓦店様・彌榮自動車様

平成 28 年は、日新電機株式会社様（本社 京都市）などからの寄附により収支が若干改善しました。



平成 29 年 1 月 18 日  
日新電機（株）寄附受納式

### 平成 28 年 ご寄附いただいた皆様

皆様のご支援に深く感謝申し上げます。

**個人** 青山 宏、浅越 茂、荒井 孝、岩本 祐志、生田 健蔵、大森 憲、小川 直樹、奥 美里、片岡秀男、川崎 尚志、木崎 勝夫、木股 博一、金 ミンスク、栗本 二美子、桑原 尚史、佐野 泰彦、炭崎 勉、高川 祐子、田村 郁夫、辻 勇治、寺田 敏紀、内藤 卓、中井 邦子、中田 悠志、中西 たえ子、西村 孝平、林 建志、平竹 耕三、牧野 忠廣、松村 光洋、望月 幸夫、山本 洋子、横道 友香子、吉田 光一  
ご芳名の非公開希望を合わせた 35 名の皆様（敬称略、五十音順）

**法人**（株）井筒八ッ橋本舗、岩井木材（株）、京都クレジットサービス（株）、京都青果合同（株）、京町家スイート利休、（株）さんけい、（有）鈴木モーターズ、（株）スマヤ、（株）渡月橋、日新電機（株）、（株）ホリバコミュニティ、（株）都ハウジング、元吉町町内会、The Deepest Kyoto Tour 実行委員会  
ご芳名の非公開希望を合わせた 14 団体の皆様（五十音順、敬省略）

### ご寄附の方法

一口 1,000 円から受付しております。

### 寄附金控除の適用を受けることができます

当財団に対する寄附金は、公益財団法人に対する寄附として、税の減免措置を受けることができます。ご寄附と控除の方法について、詳しくはホームページをご覧ください。



京町家まちづくりファンド 検索

## 基調講演

濱崎 加奈子氏 有斐斎弘道館 館長

※有斐斎弘道館：文化 3 年（1806 年）、  
京都御所近くに皆川淇園（みながわきえん）が設立した私塾。



弘道館露地



### 「弘道館の再興を通じた京都文化の継承と発信」

取り壊されそうになった、風情ある数寄屋建築の保存運動の苦労話と、継承された建物を活用し、伝統の知恵を実際に体験しながら、世界に求められる人材を育成する取組が紹介されました。

建物だけでなく、そこで培われてきた文化を継承するという、京町家まちづくりファンドとの共通点や、京町家の保全と同じように、伝統を受け継いでいくための資金調達の難しさという共通の課題に関心が寄せられました。

## ゲストスピーチ

改修助成を受けられた京町家の所有者様にも協力いただき、京町家での豊かな暮らしについてお話を伺いました。



伊藤 正人氏（南区／平成 23 年度改修助成）

基本、町家というものは職住一体の建物であり、そこで生活するということが非常に大事だと思っています。そして四季の移ろいととも、その中の暮らしを楽しむことで初めて、町家建築や町家暮らしの魅力と価値が実感できると考えています。



川端 裕美氏（上京区／平成 26 年度改修助成）

町家暮らしの醍醐味は、住む人の生活スタイルに合わせて柔軟に形を変えられることで、それが文化や伝統を途切れさせない秘訣だと思います。外から見ただけでは分からないそれぞれの町家の隠れた魅力が広く発信されることを期待します。

## 寄附者表彰式

表彰を受けられた皆様から、京町家と京都の町並みの継承に対する思いについて、お話しいただきました。



杉野 善彦氏  
株式会社井筒八ッ橋本舗  
代表取締役社長

7 年前、井筒八ッ橋の工場を新築移転する際に、京都に何か恩返しできないかということで、商品をお買い上げいただくごとに、同ファンド寄附に協力するというところから始めさせていただきました。ご縁が色々と重なり、祇園町南側に再生された京町家（市村邸／P6 京町家改修事例参照）から声をかけていただき、そこにお店を出させていただきましたことができました。

☆ご来場の皆様に「井筒八ッ橋」をご提供いただきました。



湊 二郎氏  
京都青果合同株式会社  
調査室 室長

京都中央卸売市場で、青果物の売買などを行っています。京野菜をブランド化することによって、京都の素晴らしい食文化や伝統的な京野菜を残していくことができました。

寄附に協力して 8 年になります。京町家まちづくりバナナを買っていただいたら寄附につながります。これからも末長く協力させていただきたいと思っています。



西村 孝平氏

3 月（マーチ）の 8 日＝町家ということで、3 月 8 日を「町家の日」として日本記念日協会に登録いたしました。その日に、京都タワーを、皆さんに投票していただいた色でライトアップすることを 2020 年まで継続して企画しています。

●西村様は、当財団の京町家専門相談員として、京町家の保全・再生にご協力いただいています。

町家の日 HP <http://machiyanohi.jp/>



## 皆様へのメッセージ

門川 大作

京都市長

文化庁の京都移転が決まり、京都は文化で日本中を元気にしていく、その取組の一つが、日本の心をつないできた京町家を継承していくことです。京町家まちづくりファンドは皆様からの尊い寄附が頼りです。どうぞよろしくお祈りします。

## アトラクション

京町家や京文化が継承され、これからはますます発展していくことを祈念して、長唄と舞踊が披露されました。

**立ち方** 市さよ氏（先斗町）  
**長唄** 東音松浦 麻矢氏  
**三味線** 杵屋 禄秀（当財団職員）  
**演目** 1 長唄：松の縁  
2 舞踊：京の四季  
3 舞踊：梅の栄



# 京町家のつなぐご縁

## 市村邸／平成 27 年度 京都を彩る建物や庭園 選定

四条通に面する京町家を改修され、オモテを店舗、オクを住まいとしている市村邸のご紹介です。当財団へ相談に来られて改修につながった建物です。代々受け継がれてきた京町家改修のきっかけとこだわりについて市村三吾さんにお話を伺いました。



市村さん(右)と井筒ハツ橋・小仲さん(左)

### 受け継がれてきた「京町家」

祖先から代々継いできた明治期に建てられた町家です。元々は御茶屋で、幕末の志士たちも客として通っていたと聞いています。今も2階には細かな御茶屋格子が残っています。明治40年から履物屋さんにお貸ししていましたが、約100年ぶりに戻ってきました。当初は建て替えも考えましたが、箱階段があるのを見て、改修することに決めました。というのも、生家も京町家で同じような箱階段があったこと、すでに取り壊した後で残念に感じていたことを思い出したのです。また、四条通の町家が少なくなってきたことも、この町家を残したいというきっかけになりました。



外観



内観・箱階段

### こだわりの詰まった改修

まちセンの町家相談のつながりから京町家に詳しい大工さんや建築士さんと知り合い、改修を依頼しました。設計前の調査で、2階の羽根木は材木を運んできた権を使っていること、「市村」の焼印がある柱が見つかるなど、新たな発見ばかりでとても引き込まれました。また、大工さんのこだわりと高い技術に触れたことで、京町家への興味が深まるとともに自身のこだわりも強まり、気付けば互いのこだわりが詰まった京町家となりました。そのようなやり取りのなかで、伝統建築を残すこととともに、それらに携わる職人さんたちの技術も継承していかなければならないと感じています。

建築士さんいわく、構造改修が大変だったそうです。店舗時代の改修時に、人見梁・通し柱が切られていたので、それを入れ替え、接ぎ替えしました。金物を使わず込み柱を使う工法です。土壁は古い土を落とし、竹小舞を修復して塗り替えました。

覆われていたものをめくるごとに新たな発見があり、古材を大切に使い、技術をつないでいくことへの想いを強くしました。



内観・梁の接ぎ替え

### つながるご縁

改修時から、オクは住居、オモテはまたしばらく店舗に貸す予定でした。立地が良いため引き合いも多くありましたが、せっかく丁寧に改修した町家なので、雰囲気を生かし、また私の意向を十分に受け止めてくれる方にお貸ししたいと考えていました。そして、かねてより知り合いでもあった井筒ハツ橋さんに出店してもらうことになりました。

出店が決まった後にわかったことなのですが、改修してくださった大工さん筋の方と井筒ハツ橋さんもつながりがあり、また、まちセンの京町家まちづくりファンドへも寄附付き商品を提供してされると伺い、京町家のつなぐご縁がここにもありました。

隣の路地奥にも所有の町家があるので、今後も多くの方にご協力いただきながら改修して活用、継承していくつもりです。



内観・店舗

幕末から幾多のエピソードをかさね、多くの方々の技術とこだわり、想いのつまった京町家の当財団の町家相談をきっかけとして「京都を彩る建物や庭園」に選定されました。これからもさまざまなご縁にあずかれ、つながり続けることを願います。



株式会社井筒ハツ橋本舗  
http://www.yatsuhashi.co.jp/  
京町家まちづくりファンド寄附付き商品  
http://kyoto-machisen.jp/fund/shop/  
京都を彩る建物や庭園  
http://kyoto-irodorou.com/



## 平成 29 年度賛助会員募集中!

当財団は、平成29年に設立20周年を迎えます！  
住民・企業・行政が力を合わせて、美しい京都のまちを守り育てていく、パートナーシップのまちづくりを推進しています。  
活動趣旨に賛同していただける方を賛助会員として募集しています。

年会費	
個人 1口	5,000円
団体 1口	50,000円

入会をご希望の方は当財団にお問合せいただくか、ホームページをご覧ください！  
賛助会員お申込みのご案内ページはこちら → <http://kyoto-machisen.jp/partner>

※当財団の賛助会員は、公益財団法人に対する寄附として、税の減免措置を受けることができます。

特典1 ニュースレター「京まち工房」の送付

特典2 各種セミナー・イベントのご案内(随時)

特典3 当財団ホームページへのバナー掲載(団体会員のみ)

## 平成28年度は下記の皆さまにご入会いただきました。ご支援ありがとうございました。

- 個人会員 相原 満、青木 義照、秋山 智則、浅田 毅、足立 和康、網野 正観、荒金 博美、荒川 朋彦、生駒 勲、石川 貴洋、石原 一彦、石村 陸貴、磯林 雅之、伊藤 正人、伊藤 真嗣、稲波 良幸、井上 郁朗、井上 信行、井上 久明、井上 博史、岩井 英人、岩崎 清、岩崎 互男、上北 恭史、上田 菜穂、上原 智子、江田 頼宣、江藤 修、大井 昭美、大井 康光、大岸 薫、太田 滋子、太田 昌志、大前 温彦、岡崎 篤行、小笠原 憲一、岡田 圭司、岡田 耕介、岡田 秀人、岡田 優、岡本 正二、岡山 尚義、奥 美里、尾崎 学、押谷 昌成、笠岡 英次、香水 謙一、片山 尚彦、加藤 昭、門川 信一郎、狩野 文博、川口 浩、河崎 尚志、河邊 聡、河村 宏、川本 淳一、北岡 愛、北川 洋一、北村 信幸、木下 靖史、木股 博一、来海 賢一、木村 忠紀、木村 真紀子、刑部 多恵子、黒田 芳秀、桑原 尚史、五島 勝則、小嶋 新一、小西 二郎、小西 吉治、金剛 育子、坂本 登、坂本 正壽、佐竹 和男、佐藤 友彦、佐藤 七重、佐藤 友一、真田 松寿、鮫島 恵子、四方 喜代子、志渡 澤祥宏、柴崎 孝之、島田 和明、清水 博之、志村 公夫、下村 哲也、神谷 宗宏、杉浦 伸一、杉崎 和久、杉田 実、鈴木 知史、炭崎 勉、関岡 孝継、瀬戸 隆文、宗野 ふもと、高川 祐子、高木 勝英、高木 貴子、高木 伸人、高田 泰男、高橋 ありす、高畑 重勝、高谷 和代、高谷 基彦、田谷 隆行、田中 照人、田邊 昌士、谷口 一朗、多兎 貞子、谷村 寧昭、玉山 千映子、玉山 秀文、辻 誠、寺井 正、寺門 宏之、寺島 彰、寺田 敏紀、寺田 史子、寺田 泰三、寺谷 淳、寺本 健三、土井 靖典、豊田 祐輔、内藤 郁子、内藤 真紀子、中井 健一、中島 弘益、中島 吾郎、中司 小百合、中積 実、仲西 弘樹、中村 進一、中村 有希、中山 雅永、生川 慶一郎、西澤 亨、西嶋 淳、西田 祐司、西村 健、野間 久世、齒黒 健夫、橋本 操、橋本 勝喜、畑 正一郎、畠中 功、早崎 真魚、林 建志、林 道弘、速水 孝治、平井 義也、平竹 洋子、平戸 秀幸、深草うずらの吉兆くん、吹上 裕久、福林 文孝、藤田 裕之、藤村 知則、藤原 正行、二松 康、富名腰 隆、松橋 律夫、文山 達昭、古川 吉則、平家 直美、細川 義明、堀田 剛、堀 有輝子、前田 史浩、牧野 忠廣、松井 浩一、松田 彰、松村 互、松村 光洋、丸山 光洋、水谷 新太郎、水口 義晴、三村 浩史、宮岡 和子、宮岡 博之、宮川 邦博、宮村 友子、宮本 日佐美、村上 真史、村瀬 和子、村瀬 喜則、望月 幸夫、森川 宏剛、八木 繁紀、安本 典夫、矢田部 衛、柳原 博實、山内 典子、山内 比呂史、山縣 一葉、山口 真奈美、山崎 正史、山下 僚太、山田 悟、山名田 康孝、山本 一博、山本 茂、由里 啓子、横田 政広、吉田 健、吉田 光一、吉田 就一、吉田 友彦、吉田 真由美、米谷 朋恵、和田 豊志、和田野 美久仁、Sarah Mahoney
- 団体会員 株式会社アーキスタイル、大阪ガス株式会社近畿圏部、『京ぐらし』ネットワーク、京都駅ビル開発株式会社、公益社団法人京都市観光協会、京都信用金庫、一般社団法人京都府不動産コンサルティング協会、京町家居住者支援会議、ぐるっとVIEW、公益財団法人国際交通安全学会 IATSS フォーラム、サッポロホールディングス株式会社、株式会社ジェイアール西日本伊勢丹、株式会社ゼロ・コーポレーション、一般社団法人相続相談センター、株式会社地域計画建築研究所、株式会社八清、be 京都、株式会社フラットエージェンシー、平安建材株式会社、株式会社都ハウジング、立命館大学歴史都市防災研究所 (五十音順、敬称略)



## スタッフのつぶやき

スタッフA.H.

骨董品が好きで、時間を見つけてはいいモノを見に色々な所に足を運びます。先日は、東寺で開催される弘法市に行ってきました。市が開催される日の東寺の境内では、1,000 を超える店が所狭しと並び、骨董品(鉋などの大工道具も売られています)、食品、植木などの多様な品が売られています。老若男女さ

まざまな方が訪れ、朝からすごいにぎわいで、普段の東寺とはまた違った活気や風景を楽しめました。見るだけのつもりだったのに、その活気に吞まれてか一目惚れで古伊万里の小皿を買い、帰りにはさつまいもまで手に提げていました。今度は、北野天満宮の「天神市」にも足を運ぼうと考えています。

